

商店街の歩行者安全対策は

小池 信一郎 議員 (瑞)

答 弁 拡幅など再三要望しているが



質問 青梅街道商店街の買物客に対する歩行者安全対策は図られていない現状にある。個店活性化については「こだわりの店」をはじめとして、町も支援を惜しまず全体的に成果を上げつつある。しかし、既存商店街の買物客は通過車両に締め出され、顧客の減少がさらに深刻な状況を招いている。平成15年3月に示された「商店街振興プラン」にも安全対策は上げられているが、その後の取り組みと、今後の具体策について町長の所見を伺う。



歩道のない青梅街道(箱根ヶ崎商店街)

幅員が7m程度と狭く、現状での歩道設置は困難であり、拡幅を伴った整備については密集市街地であることから、用地買収や移転補償等に莫大な費用がかかるため困難との見解である。町としては、都と現時点で可能な安全対策を警察も

交え、よく協議し、検討していきたい。

こんな質問もありました
残堀川源流の景観保全を。
町長 自然環境と調和したすばらしいものにしていく。

航空自衛隊司令部横田移駐容認の撤回を

谷 四男美 議員 (住)

答 弁 「撤回」の考えはない



質問 石塚町長は、2月11日、航空自衛隊航空総隊司令部の横田基地への移駐共用化容認を発表したが、これは、住民や議会の意向をとらえない突然の行動であり、理解に苦しむ。たとえどんな条件があっても認めべきではない。自衛隊の移駐によって騒音回数が増えることはあっても減ることとはありえない。自衛隊各基地との往来も増し、基地の永久固定化につながる空



基地対策特別委員会が入間基地を視察

自司令部の横田基地への移駐容認は、撤回すべきである。町長の所見を伺う。

町長 私は、日本の安全があつて、初めて瑞穂町の安全があると考えている。もし、航空総隊司令部移駐に伴う自衛隊機の騒音が著しい場合は、国に対し強く申し入れる所存である。

耐え難いほどの負担でない限りは国策に協力すべきであり、町の将来を思い、政治的に決断した。従って撤回する考えはない。

お年寄りの居場所づくりを

小川 龍美 議員 (公)

答 弁 地域住民の自発的な取り組みに期待



質問 高齢者が自立した生活を送るためには、閉じこもりや認知症を防ぐことが大事である。そのためには、一緒に話や食事をする中で精神的にサポートを行ったり、趣味活動、子どもとのふれあいを通し生きがいをもつなど、お年寄りの居場所が必要となる。そこで、介護保険制度改正に伴い、地域支援事業として、外出の機会、生きがいの場を提供するなど、様々な機能を備えた宅老所の建設に取り組むべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 宅老所は高齢者等が住みなれた地域で生活できるように、民家などを改修した建物を使用し、健康保持や閉じこもり防止などに有効な施設であるといわれている。しかし、施設の利用者に応じた広さの確保、サポートするボランティア等の問題もある。今後の介護予防事業の取り組み状況や、参加者等を参考に、研究したいと考えている。いずれにしても地域住民の自発的な取り組みが一番大切である。



宅老所内での介護サービス

こんな質問もありました
食育推進計画の策定は。
町長 国や都と整合を図り策定したい。

教育基金を創設してはどうか

森 亘 議員 (み)

答 弁 十分検討して方向性を見出したい



質問 若者が将来社会に貢献できるように、最低限の教育が受けられる機会を保證する、あるいは優れた能力を有する学生が、さらにその能力を伸ばせる機会を提供することは、いずれも社会の責務である。そこで、町として、教育基金を創設してはどうか。また、その際、教育基金の原資の一つとして、いまだに無料で提供している教職員の校内駐車場の有料化し、基金に充当することを提言するが、町長および教育長の所見を伺う。



瑞穂中学校の教職員駐車場

町長 優れた能力を持った瑞穂の子どもたちに一層研鑽する場や能力を伸ばす機会を創設することも重要である。町での教育委員会ですら十分検討していただき方向性を見出したい。

また、教職員の学校内敷地を利用した駐車料金については、教育委員会と十分協議しながら、さまざまな状況について判断し、有料化の結論を得たいと考えている。